

# 石破茂内閣府地方創生大臣、 島尻あい子内閣府特命担当大臣の久米島視察



5月1日、石破茂内閣府地方創生大臣と島尻あい子内閣府特命担当大臣が久米島を訪れました。

沖縄県海洋深層水研究所では海洋深層水施設の現況及び「エネルギー・水・食糧」の自給率向上により持続した社会の構築を目指す「久米島モデル」の説明を受け、その後に隣接する海洋温度差発電実証設備（OTEC）を視察しました。その日の両大臣の視察によりOTEC見学者は約3年間で5000人の大台に達しました。（写真：来場者5000人達成記念パネルを持つ両大臣）

また、両大臣は研究所周辺の企業（㈱ポイントピュールの化粧品製造現場、久米島海洋深層水開発株式会社のおぼどう養殖施設、㈱ジーオー・ファームの牡蠣陸上養殖研究施設）を精力的に視察しました。

## 【まち・ひと・しごと 地方創生セミナー「わが町の挑戦」 ～小さな離島久米島からの大きな挑戦が今始まります～】が開催されました

同日に、具志川農村環境改善センターにおいて「久米島町人口ビジョン」及び「久米島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を受けて、地方創生の機運の醸成を図ることを目的に地方創生セミナー「わが町の挑戦」が開催されました。

第1部は石破茂内閣府地方創生大臣の基調講演があり、視察の感想を交えながら日本全体の人口ビジョンや地方が抱える課題、解決事例についてわかりやすく講話いただきました。特に久米島町における地方創生の主要事業の一つ「久米島モデル」に取り組む企業の皆さんの話を島尻大臣とともに見聞して、日本国のため、沖縄県のため、そして次の時代のためにも久米島の取り組みについては国として最大限の支援をしますと述べられました。



また、第2部では町企画財政課の担当者から久米島町の抱える課題及び解決に向けた取り組みを「久米島町まち・ひと・しごと創生総合戦略」として説明を行いました。つづいて、地方創生の取り組みの1つである「久米島モデル」の中から久米島全体の電力を海洋エネルギーで賄えるか、その可能性について、佐賀大学の池上康之教授による「海洋エネルギーが切り拓く島の未来」と題した講話がありました。

セミナーには地方創生に関心のある多くの町民の皆様にご参加いただきました。